

## ♪ 恐怖政治

フランス革命が激化していくなかで、ジロンド派に代わって政権を握った（ 1 ）派は、（ 2 ）を中心に革命裁判所・公安委員会を設置し、①恐怖政治を展開する。しかし、独裁に対する批判が強まった結果、（ 2 ）をはじめとする（ 1 ）派は②排除された。

恐怖政治が終わると、1795年に（ 3 ）政府が樹立された。この政府の中心となったのは、軍人の（ 4 ）である。彼は③海外遠征を重ねることで国民の人気を獲得して、④政権を奪取した。

問1 下線部①に関連して、この政治を象徴する器具を答えなさい。

問2 下線部②に関連して、この出来事を何というか、答えなさい。

問3 下線部③に関連して、1798年に（ 4 ）が遠征した場所はどこか、以下から選びなさい。

A イタリア      B ロシア      C メキシコ      D エジプト

問4 下線部④に関連して、

（1） この出来事を何というか、答えなさい。

（2） （1）の結果、新たに樹立された政府を何というか。

## ♪ ナポレオン時代

終身統領となったナポレオンは、1804年に（ 1 ）を公布した。自由・平等・私有財産の不可侵といった近代市民社会の原理が盛り込まれており、「①世界三大法典」の一つとされる。

ナポレオンが皇帝に即位すると（第一帝政）、「革命の輸出」を掲げ、ヨーロッパ征服を推進した。1806年には現在のドイツに存在した、（ 2 ）帝国を滅亡させた。イギリスの対しては、（ 3 ）令を発令したが、それに従わなかったロシアへの遠征を実施したが、大敗した。

問1 下線部①に関連して、一つは「ローマ法大全」である。「目には目を、歯には歯を」の条文で知られる、もう一つの法典は何か、答えなさい。